

平和への誓い

今日、広島は、20世紀最後の平和記念日を迎えました。

この100年の間、私たちの生活は大きく変わり、今ではとても便利で豊かになりました。でも、本当に幸せで平和な世界がつくられてきたと言えるのでしょうか。

55年前の夏、ここ広島は、突然の閃光とともに、高熱と爆風の渦に襲われ、家族や友人との語らい、小鳥たちのさえざり、緑あふれる草木など、すべてが炎の竜巻の中に永久に閉じ込められました。そして、ふるさとは焼き尽くされ、見渡す限りの焦土と化したのです。

残された人々は、その苦しみや悲しみを乗り越え、生きる意思と希望を支えに、瓦礫の中から、「過ちは繰返しませぬから」との固い誓いのもと、復興への努力を積み重ねました。そして、今、私たちは、水と緑あふれる美しい広島に暮らすことができるようになりました。

こうした平和への強い願いがありながら、地球上には、今もなお、戦争、飢餓、貧困、そして核兵器が存在します。新たな世紀を本当に平和な世界にするためには、人間が作りだしたこの核兵器を、私たち人間の手で地球上から無くしていかなければなりません。そのためには、まず、私たちの身近にあるいじめや暴力などの問題から、私たち自身で解決していくことが大切だと思います。きっと、私たちの力で、幸せで平和な世界をつくることができるということを、広島をよみがえらせたおじいさんやおばあさんたちの姿から学びました。

私たちは、被爆した人々の平和への熱い思いを胸に刻み、新しい時代に生きる広島の子どもとして、世界の人々と手と手を取り合い、伝え合い、21世紀に向け、平和の架け橋となるよう努力することを誓います。

世界みなさん、平和を築くため、できることから始めましょう。

We all long for world peace.

We hope we can work towards it together.

平成12年(2000年)8月6日

子ども代表 広島市立上温品小学校6年

広島市立長束小学校6年

岡田
横田

佳那子
翔